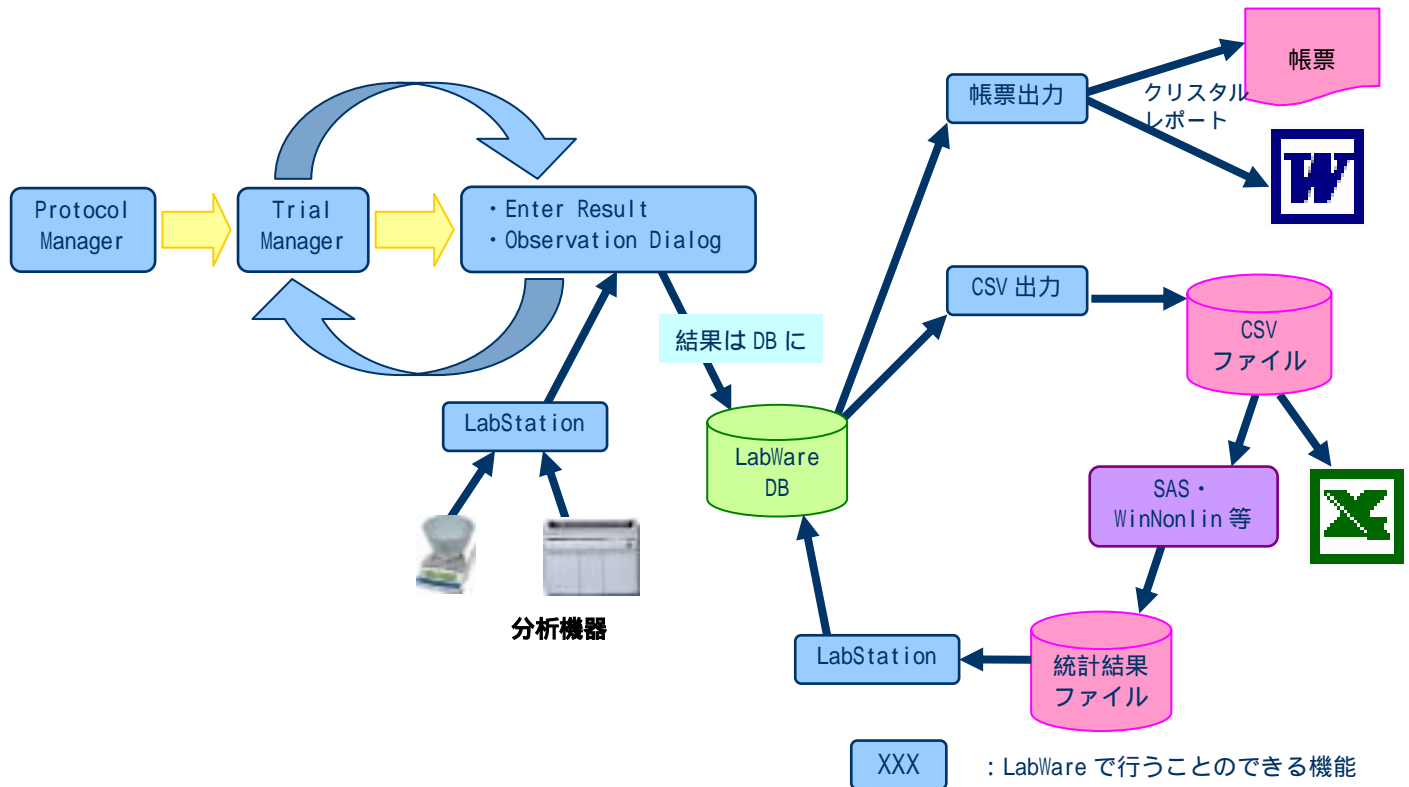


【概要】

- 非臨床試験を LabWare で実施するための機能として Protocol Manager、Trial Manager を使用します。
- また、病理所見などの所見を入力するために Observation Dialog 画面が準備されています。
- GLP に準拠したシステムであり、必要な機能は基本機能として準備されています。

【流れ】



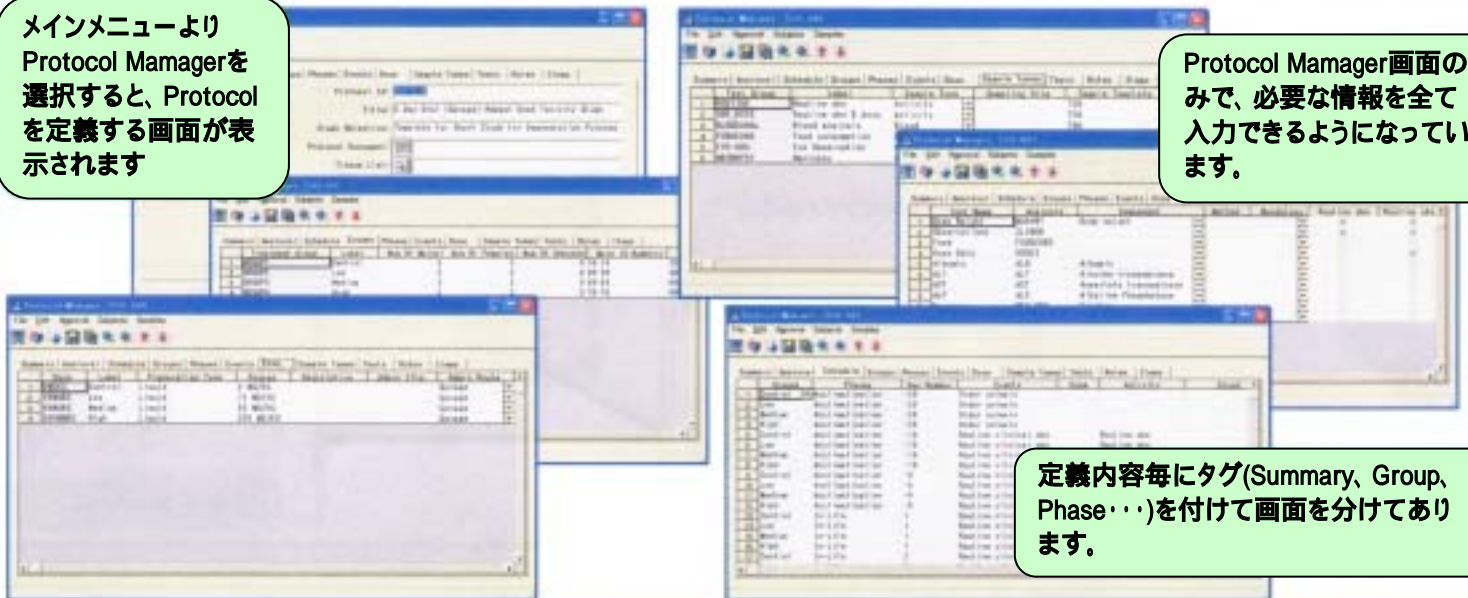
【Protocol Manager】

- 標準の Protocol を定義する機能です。定義する内容には以下のようなものがあります。
 - 投与量の違いによるグループの定義、動物数、動物種、ID 番号
 - 投与量の設定、形状、濃度、投与場所、投与ルート
 - 動物のフェーズ(馴化、投与、剖検など)
 - サンプルのタイプ・測定項目
 - グループに対しての試験スケジュール(開始時点からの期間)、測定項目

メインメニューより Protocol Manager を選択すると、Protocol を定義する画面が表示されます

Protocol Manager画面のみで、必要な情報を全て入力できるようになっています。

定義内容毎にタグ(Summary、Group、Phase...)を付けて画面を分けてあります。



【Trial Manager】

- Protocol Manager で定義した Protocol を選択し、実際の計画を立てます。そしてスケジュールの展開を行います。
- 試験の情報・動物数を登録し、動物数分のレコードを展開します
- 動物を選択肢、Log Samples で、該当選択した Visit の試験項目を展開します

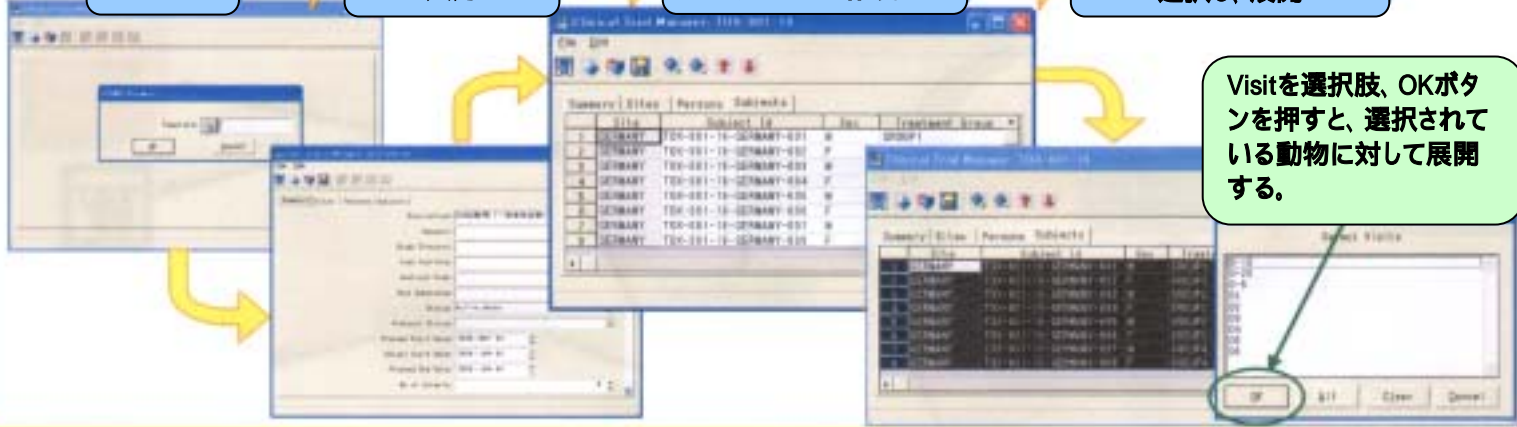
Trial Manager 画面では

Protocol
選択

試験情報を
入力

指定した動物数分の
レコードを作製

動物、スケジュールを
選択し、展開



【Result Entry・Observation Dialog】

- 試験項目の結果入力を行います。
- Result Entry は体重などの結果入力を行います
- Observation Dialog は病理所見、眼科所見などの入力を行います

Folder

結果を入力する試験項目を選択

Observation Dialog

所見を入力する場合には、臓器を選択し、Observations ボタンを押す。

・ 所見にチェックし、グレードを選択
・ 所見はマスターとして登録

Result Entry

体重・臨床試験結果などを入力

Folder

入力して結果などの情報を一覧で確認

【帳票】

- 帳票を出力します。
- 帳票を作成するソフトとして、Crystal Reports を使用します。簡単に帳票を作成/修正することができます
- Crystal Reports の機能でプリンターに印刷、Word ファイルなどに出力します

Run Reports

帳票の一覧より帳票を選択

病理所見サマリー

臓器重量サマリー

